

ATDE Install Guide

Version 2.0.0d-a2a729d
2008/08/19

株式会社アットマークテクノ [<http://www.atmark-techno.com>]

Armadillo 公式サイト [<http://armadillo.atmark-techno.com>]

SUZAKU 公式サイト [<http://suzaku.atmark-techno.com>]

ATDE Install Guide

株式会社アットマークテクノ

060-0035 札幌市中央区北 5 条東 2 丁目 AFT ビル 6F
TEL 011-207-6550 FAX 011-207-6570

製作著作 © 2008 Atmark Techno, Inc.

Version 2.0.0d-a2a729d
2008/08/19

目次

1. はじめに	1
1.1. 対象となる読者	1
1.2. 本書の構成	1
1.3. インストール PC の推奨スペック	2
1.4. フォントについて	2
1.5. コマンド入力例の表記について	2
1.6. 注意事項	2
2. Windows 上に ATDE を構築する	3
2.1. インストールの前に	3
2.1.1. 準備するもの	3
2.1.2. ATDE イメージの展開	3
2.2. VMPlayer のインストール	3
2.3. ATDE の起動	6
2.4. アンインストール	7
2.4.1. VMPlayer のアンインストール	7
2.4.2. atde フォルダの削除	8
3. Linux 上に ATDE を構築する	9
3.1. インストールの前に	9
3.1.1. 準備するもの	9
3.1.2. ATDE イメージの展開	9
3.1.3. linux-headers のインストール	10
3.2. VMware のインストール	10
3.2.1. RedHat 系ディストリビューションの場合	10
3.2.2. Debian 系ディストリビューションの場合	10
3.2.3. インストーラ非使用の場合	12
3.3. ATDE の起動	16
3.4. アンインストール	17
3.4.1. VMware のアンインストール	17
3.4.2. atde ディレクトリの削除	18
A. Appendix	19
A.1. シリアルポートに関して	19
A.1.1. 動作確認方法	19
A.1.2. 動作しない場合の対処方法	19
A.2. ATDE の画面解像度を変更する	19
A.2.1. ATDE を起動する	20
A.2.2. 画面解像度を変更する	20
A.2.3. X の再起動	21
A.3. 自動ログインしないようにするには	21

目次

2.1. VMPlayer インストーラ起動画面	4
2.2. インストール場所の指定画面	4
2.3. ショートカット作成場所の指定画面	5
2.4. 設定確認画面	5
2.5. インストール完了画面	6
2.6. vmx ファイル指定画面	6
2.7. vmx ファイル指定画面	7
2.8. VMPlayer 削除画面	7
3.1. Linux での zip ファイルの展開	9
3.2. linux-headers インストール例	10
3.3. rpm でのインストール方法	10
3.4. rpm を deb 形式へ変換	10
3.5. dpkg でのインストール方法	10
3.6. VMPlayer 設定画面	11
3.7. アーカイブファイルの展開	13
3.8. vmware-install.pl でのインストール方法	13
3.9. VMPlayer の起動	16
3.10. VMPlayer 起動エラーメッセージ	16
3.11. 起動エラーの解決例	16
3.12. ライセンス同意画面	16
3.13. vmx ファイル指定画面	17
3.14. rpm でのアンインストール方法	17
3.15. dpkg でのアンインストール方法	18
3.16. vmware-uninstall.pl でのアンインストール方法	18
3.17. ATDE ディレクトリの削除	18
A.1. VMware 設定ファイルの変更	19
A.2. シリアルポートへのアクセスエラー	19
A.3. 画面解像度の設定例	20
A.4. ログイン画面の設定 1	21
A.5. root パスワード入力画面	22
A.6. ログイン画面の設定 2	22
A.7. ログイン画面	23

表目次

1.1. インストール PC の推奨スペック	2
1.2. 使用しているフォント	2
1.3. 表示プロンプトと実行環境の関係	2
2.1. デフォルトのユーザ名とパスワード	7
3.1. 取得ファイル名	9
3.2. デフォルトのユーザ名とパスワード	17
A.1. シリアルポート名の例	19

1.はじめに

ATDE (Atmark Techno Development Environment) は、VMware 上で動作するアットマークテクノ製品の開発環境です。Debian GNU/Linux をベースに、開発に必要なクロスコンパイラや必要なツールが事前にインストールされています。ATDE を使うことで、開発用 PC の用意やクロスコンパイラのインストールなど、開発環境の構築を容易にします。

本ガイドでは、ATDE のバージョン 2 について解説します。バージョン 2 は、VMware のゲスト OS に Debian GNU/Linux 4.0 (Etch) を採用したものです。ATDE の初期状態でインストールされているソフトウェアは以下の URL で確認することができます。

<http://download.atmark-techno.com/atde/atde2-dpkg-list.txt>



VMware とは

Windows または Linux 上で任意の仮想マシンを実行できるようにするソフトウェアです。標準的なデスクトップアプリケーションと同じようにインストールでき、その後仮想マシンを別のウィンドウ内で実行できます。なお、本書では VMware Player を VMPlayer と略します。

1.1. 対象となる読者

本書の対象となる読者は、Windows または Linux をお使いで、アットマークテクノ製品用の開発環境を簡単に構築したい方です。また、Windows または Linux の基本的な使い方を理解していることを前提にしています。

1.2. 本書の構成

本書は、ATDE を使用する上で必要な情報のうち、以下の点について記述されています。

- VMPlayer のインストール方法
- ATDE の起動方法
- VMPlayer のアンインストール方法
- ATDE からシリアルポートを使用した場合の動作確認
- ATDE の画面解像度の設定
- ATDE で自動ログインしないようにする

1.3. インストール PC の推奨スペック

表 1.1. インストール PC の推奨スペック

項目	スペック
CPU	1.5GHz またはそれ以上
メモリ	512MB またはそれ以上
HDD	10GB またはそれ以上の空き容量
OS	x86 の Windows または Linux
その他	シリアルポート (USB-シリアル変換アダプターを含む) が 1 ポート以上あること

1.4. フォントについて

本書では以下のようにフォントを使っています。

表 1.2. 使用しているフォント

フォント例	説明
本文中のフォント	本文
[PC ~]\$ ls	プロンプトとユーザ入力文字列
:	コマンド実行後の出力を省略

1.5. コマンド入力例の表記について

本書に記載されているコマンドの入力例は、表示されているプロンプトによって、それぞれに対応した実行環境を想定して書かれています。「/」の部分はカレントディレクトリによって異なります。各ユーザのホームディレクトリは「~」で表わします。

表 1.3. 表示プロンプトと実行環境の関係

プロンプト	説明
[PC /]#	作業用 PC 上の特権ユーザで実行
[PC /]\$	作業用 PC 上の一般ユーザで実行
[ATDE /]#	ATDE 上の特権ユーザで実行
[ATDE /]\$	ATDE 上の一般ユーザで実行

1.6. 注意事項

本書で紹介するソフトウェア(付属のドキュメント等も含みます)は、現状のまま(AS IS)提供されるものであり、特定の目的に適合することや、その信頼性、正確性を保証するものではありません。また、本製品の使用による結果についてもなんら保証するものではありません。

2.Windows 上に ATDE を構築する

この章では Windows に VMPlayer をインストールし、ATDE が起動するまでの手順を説明します。

2.1. インストールの前に

インストールを始める前にインストールに必要なファイルやツールを用意します。

2.1.1. 準備するもの

ATDE を使うために以下のものがが必要です。

- ATDE イメージ

ATDE イメージ (atde2-YYMMDD.zip) は、ATDE データ CD-ROM (以降「付属 CD」と略記) の /vmware フォルダにあります。弊社ダウンロードサイト [<http://download.atmark-techno.com/atde/>]からも取得できます。

- VMPlayer のインストーラ

VMPlayer のインストーラ (vmware-player-version.exe) は、VMPlayer ダウンロードサイト [<http://www.vmware.com/download/player/>]から取得できます。

以降の ATDE 構築例では、以下のバージョンのファイルを使用しています。

- ATDE イメージ: atde2-20070731.zip
- VMPlayer: vmware-player-2.0.0-45731.exe

2.1.2. ATDE イメージの展開

用意した atde2.zip を任意のフォルダに展開します。



展開ソフトによっては展開に失敗する場合があります。WindowsXP の標準機能で正常に展開できることを確認しています。

2.2. VMPlayer のインストール

VMPlayer のインストール手順を説明します。

1. ダウンロードした vmware-player.exe を起動し、「Next」ボタンをクリックします。

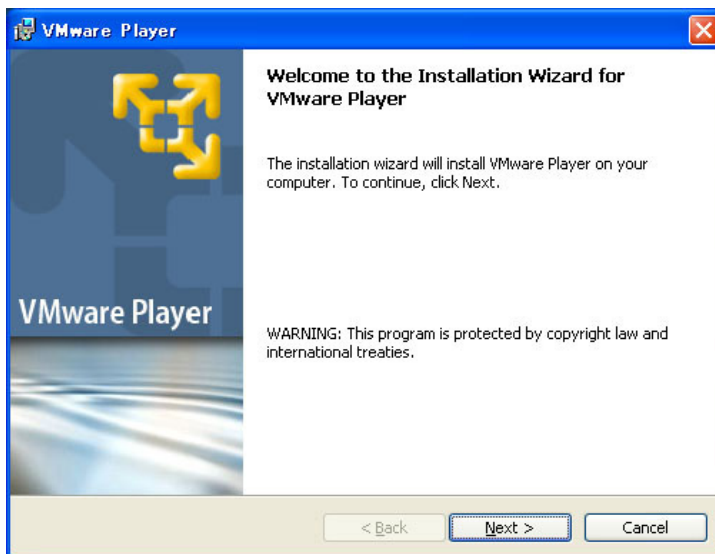


図 2.1. VMPlayer インストーラ起動画面

- 2. インストールフォルダを指定し、「Next」ボタンをクリックします。

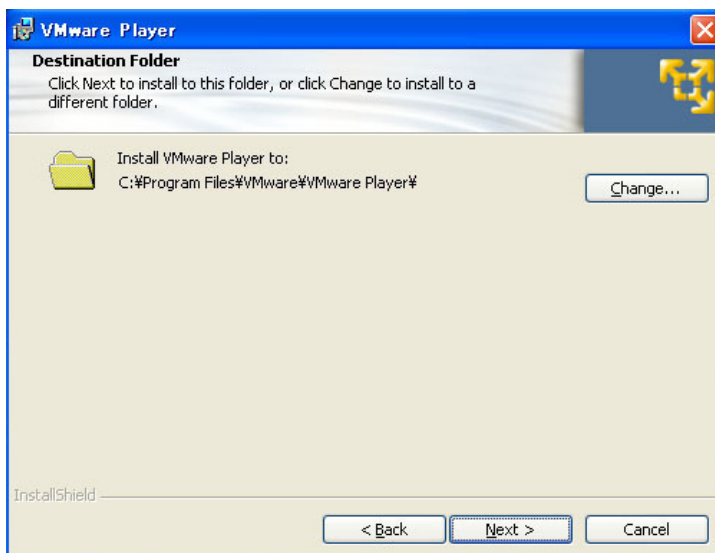


図 2.2. インストール場所の指定画面

- 3. ショートカットを作成する場所を指定し、「Next」ボタンをクリックします。

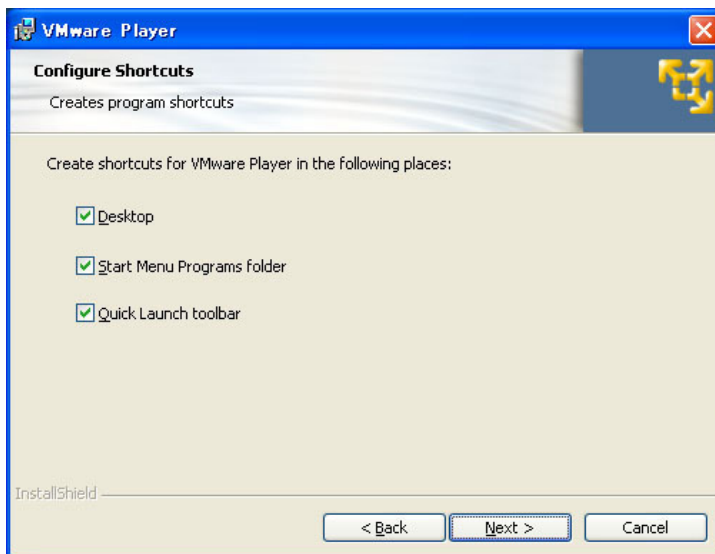


図 2.3. ショートカット作成場所の指定画面

4. 「Install」ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。

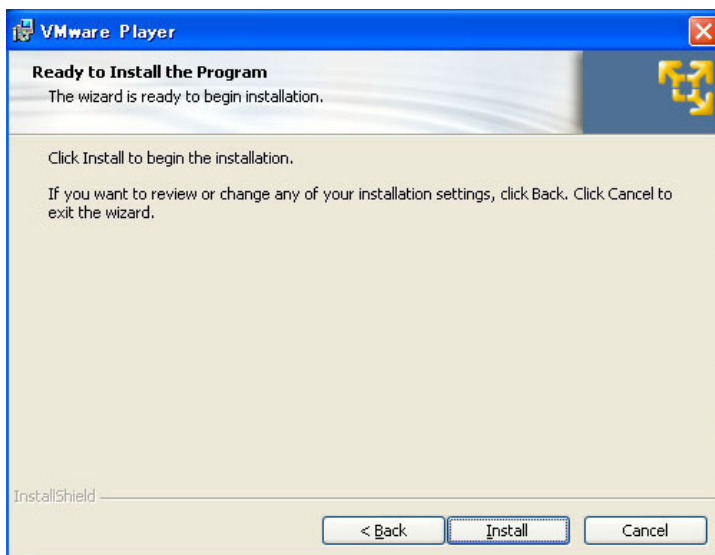


図 2.4. 設定確認画面

5. インストールが終了すると、「図 2.5. インストール完了画面」が表示されます。「Finish」ボタンをクリックしてインストーラを終了してください。

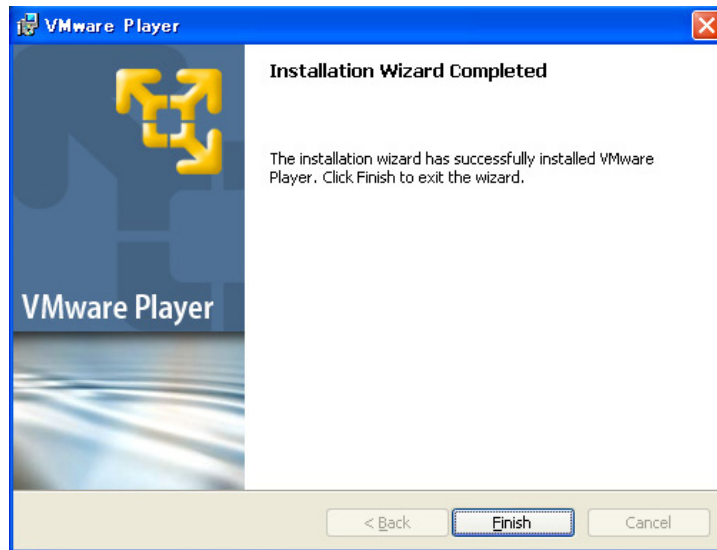


図 2.5. インストール完了画面

2.3. ATDE の起動

1. インストールした `vmplayer.exe` を実行します。
2. ライセンス同意画面が表示されます。内容を確認し同意する場合には、「Yes, I accept the terms in the license agreement」にチェックし、「OK」ボタンをクリックしてください。

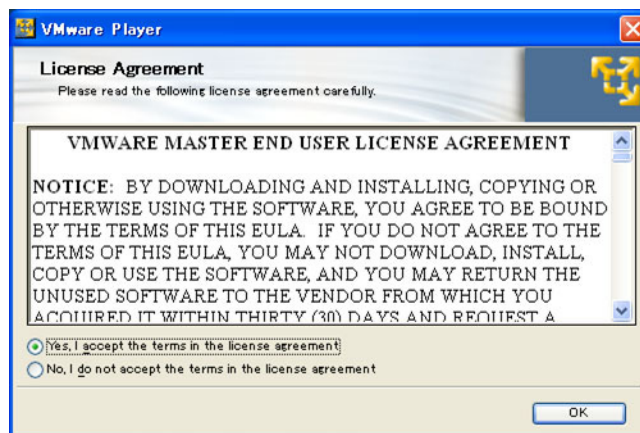


図 2.6. vmx ファイル指定画面

3. ファイルダイアログが開きます。「2.1.2.ATDE イメージの展開」で展開した `atde2` フォルダにある `atde2.vmx` を指定してください。

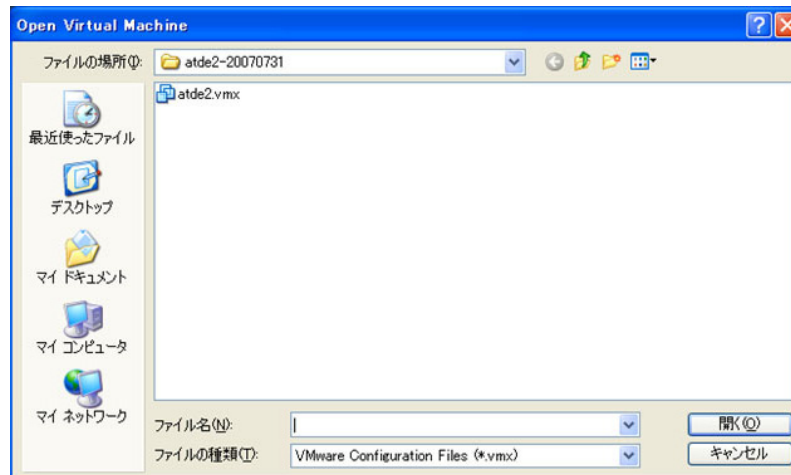


図 2.7. vmx ファイル指定画面

ログインユーザは、次の 2 種類が用意されています。デフォルトの設定では、「atmark」で自動ログイン¹します。

表 2.1. デフォルトのユーザ名とパスワード

ユーザ名	パスワード	権限
root	root	特権ユーザ
atmark	atmark	一般ユーザ

2.4. アンインストール

2.4.1. VMPlayer のアンインストール

「スタートメニュー」の「コントロールパネル」にある「プログラムの追加と削除」から VMware Player を選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。



図 2.8. VMPlayer 削除画面

¹自動的にログインさせたくないときは「A.3. 自動ログインしないようにするには」を参照してください。

2.4.2. atde フォルダの削除

もしデータが必要ないのであれば、「2.1.2. ATDE イメージの展開」で展開した atde2 フォルダを削除してください。

3. Linux 上に ATDE を構築する

この章では Linux へ VMPlayer をインストールし、ATDE が起動するまでの手順を説明します。

3.1. インストールの前に

インストールを始める前にインストールに必要なファイルやツールを用意します。

3.1.1. 準備するもの

ATDE を使うために以下のものがが必要です。

- ATDE イメージ

ATDE イメージ (atde2-YYYYMMDD.zip) は、付属 CD の /vmware ディレクトリにあります。弊社ダウンロードサイト [<http://download.atmark-techno.com/atde/>]からも取得できます。

- VMPlayer のアーカイブファイル

VMPlayer のアーカイブファイルは、VMPlayer ダウンロードサイト [<http://www.vmware.com/download/player/>]から取得できます。お使いの Linux ディストリビューションに合わせて、下記のいずれか 1 つを選択してご利用ください。

表 3.1. 取得ファイル名

Linux ディストリビューション	ファイル名
RedHat 系	VMware-player-version.i386.rpm
Debian 系	VMware-player-version.i386.rpm (「3.2.2. Debian 系ディストリビューションの場合」) で deb 形式に変換)
インストーラ非使用	VMware-player-version.tar.gz

以降の ATDE 構築例では、以下ファイルを使用しています。

- ATDE イメージ: atde2-20070731.zip
- VMPlayer: VMware-player-2.0.1-55017.i386.tar.gz

3.1.2. ATDE イメージの展開

用意した atde2.zip を任意のディレクトリに展開します。コンソールから以下のコマンドを実行してください。

```
[PC ~]$ unzip atde2.zip
[PC ~]$ ls
atde2      atde2.zip
```

図 3.1. Linux での zip ファイルの展開

3.1.3. linux-headers のインストール

VMPlayer のインストールには、linux-headers がインストールされている必要があります。linux-headers は、お使いの kernel と同じバージョンのものをインストールしてください。

以下は、Debian GNU/Linux 4.0 でインストールする場合の例です。

```
[PC ~]# apt-get install linux-headers-`uname -r`
```

図 3.2. linux-headers インストール例

3.2. VMware のインストール

ATDE を動作させるために必要な VMPlayer のインストール手順を説明します。

3.2.1. RedHat 系ディストリビューションの場合

VMware-player.i386.rpm を使ってインストールします。

2 行目のコマンド実行後は「図 3.6. VMPlayer 設定画面」の画面になります。

```
[PC ~]# rpm -ivh VMware-player.i386.rpm
[PC ~]# vmware-config.pl          . . . 図 3.6.へ
```

図 3.3. rpm でのインストール方法

3.2.2. Debian 系ディストリビューションの場合

VMware-player.i386.rpm を deb 形式に変換します。

```
[PC ~]$ dpkg -l alien
alien に一致するパッケージが見つかりません。
[PC ~]$ sudo apt-get install alien
:
[PC ~]$ fakeroot alien -d -c -k VMware-player.i386.rpm
[PC ~]$ ls
vmwareplayer.i386.deb
```

図 3.4. rpm を deb 形式へ変換

「図 3.4. rpm を deb 形式へ変換」で作成した deb パッケージを使ってインストールします。

2 行目のコマンド実行後は「図 3.6. VMPlayer 設定画面」の画面になります。

```
[PC ~]# dpkg -i vmwareplayer.i386.deb
[PC ~]# vmware-config.pl          . . . 図 3.6.へ
```

図 3.5. dpkg でのインストール方法

```
      :
In which directory do you want to install the theme icons?
[/usr/share/icons]
1

What directory contains your desktop menu entry files? These files have a
.desktop file extension. [/usr/share/applications]
2

In which directory do you want to install the application's icon?
[/usr/share/pixmaps]
3

      :
None of the pre-built vmmon modules for VMware Player is suitable for your
running kernel. Do you want this program to try to build the vmmon module for
your system (you need to have a C compiler installed on your system)? [yes]
4

Using compiler "/usr/bin/gcc". Use environment variable CC to override.

What is the location of the directory of C header files that match your running
kernel? [/lib/modules/2.6.18-5-686/build/include]
5

      :
None of the pre-built vmblock modules for VMware Player is suitable for your
running kernel. Do you want this program to try to build the vmblock module
for your system (you need to have a C compiler installed on your system)?
[yes]
6

      :
The module loads perfectly in the running kernel.

Do you want networking for your virtual machines? (yes/no/help) [yes]
7

      :
Do you want to be able to use NAT networking in your virtual machines? (yes/no)
[yes]
8

Configuring a NAT network for vmnet8.

Do you want this program to probe for an unused private subnet? (yes/no/help)
[yes]
9

      :
Do you wish to configure another NAT network? (yes/no) [no]
10

Do you want to be able to use host-only networking in your virtual machines?
[yes]
11

Configuring a host-only network for vmnet1.
```



```

Do you want this program to probe for an unused private subnet? (yes/no/help)
[yes]
12
:
Do you wish to configure another host-only network? (yes/no) [no]
13

None of the pre-built vmnet modules for VMware Player is suitable for your
running kernel. Do you want this program to try to build the vmnet module for
your system (you need to have a C compiler installed on your system)? [yes]
14
:
Enjoy,

```

図 3.6. VMPlayer 設定画面

- ① テーマアイコンをインストールするディレクトリを指定します。
- ② デスクトップメニューの登録先ディレクトリを指定します。
- ③ VMPlayer のアイコンをインストールするディレクトリを指定します。
- ④ vmmon モジュールをリビルドするかを指定します。
- ⑤ kernel ヘッダーファイルのあるディレクトリを指定します。
- ⑥ vmblock モジュールをリビルドするかを指定します。
- ⑦ VMPlayer でネットワークに接続するかを指定します。
- ⑧ VMPlayer でホスト OS と IP アドレスを共有するかを答えます。
- ⑨ ⑧の準備をするかを指定します。
- ⑩ 他に⑧の設定をするかを指定します。
- ⑪ VMPlayer を動かしているマシンを経由してネットワークを使用するかを指定します。
- ⑫ VMPlayer を動かしているマシンとのネットワークの使用を準備するかを指定します。
- ⑬ 他のネットワークを設定するかを指定します。
- ⑭ vmnet モジュールをリビルドするかを指定します。



デフォルトの設定を変更しない場合は、[Enter]キーを入力すればよいでしょう。

3.2.3. インストーラ非使用の場合

アーカイブファイルを展開します。

```
[PC ~]$ tar zxvf VMware-player.tar.gz
[PC ~]$ ls
vmware-player-distrib    VMware-player.tar.gz
```

図 3.7. アーカイブファイルの展開

展開したディレクトリにあるインストールスクリプトを使ってインストールします。

```
[PC ~]$ cd vmware-player-distrib
[PC ~/vmware-player-distrib]$ sudo ./vmware-install.pl
:
In which directory do you want to install the binary files?
[/usr/bin]
①

What is the directory that contains the init directories (rc0.d/ to rc6.d/)?
[/etc]
②

What is the directory that contains the init scripts?
[/etc/init.d]
③

In which directory do you want to install the daemon files?
[/usr/sbin]
④

In which directory do you want to install the library files?
[/usr/lib/vmware]
⑤

The path "/usr/lib/vmware" does not exist currently. This program is going to
create it, including needed parent directories. Is this what you want?
[yes]
⑥

In which directory do you want to install the documentation files?
[/usr/share/doc/vmware]
⑦

The path "/usr/share/doc/vmware" does not exist currently. This program is
going to create it, including needed parent directories. Is this what you want?
[yes]
⑧

:
Before running VMware Player for the first time, you need to configure it by
invoking the following command: "/usr/bin/vmware-config.pl". Do you want this
program to invoke the command for you now? [yes]
⑨

:
In which directory do you want to install the theme icons?
[/usr/share/icons]
⑩
```

What directory contains your desktop menu entry files? These files have a .desktop file extension. [/usr/share/applications]

11

In which directory do you want to install the application's icon?

[/usr/share/pixmaps]

12

None of the pre-built vmmon modules for VMware Player is suitable for your running kernel. Do you want this program to try to build the vmmon module for your system (you need to have a C compiler installed on your system)? [yes]

13

:

What is the location of the directory of C header files that match your running kernel? [/lib/modules/2.6.18-5-686/build/include]

14

:

None of the pre-built vmblock modules for VMware Player is suitable for your running kernel. Do you want this program to try to build the vmblock module for your system (you need to have a C compiler installed on your system)?

[yes]

15

:

Do you want networking for your virtual machines? (yes/no/help) [yes]

16

:

Do you want to be able to use NAT networking in your virtual machines? (yes/no)

[yes]

17

:

Do you want this program to probe for an unused private subnet? (yes/no/help)

[yes]

18

:

Do you wish to configure another NAT network? (yes/no) [no]

19

Do you want to be able to use host-only networking in your virtual machines?

[yes]

20

:

Do you want this program to probe for an unused private subnet? (yes/no/help)

[yes]

21

:

Do you wish to configure another host-only network? (yes/no) [no]

22

:

None of the pre-built vmnet modules for VMware Player is suitable for your running kernel. Do you want this program to try to build the vmnet module for your system (you need to have a C compiler installed on your system)? [yes]

23

:

```
Enjoy,  
  
--the VMware team  
  
[PC ~/vmware-player-distrib]$
```

図 3.8. vmware-install.pl でのインストール方法

- ❶ 実行ファイルをインストールするディレクトリを指定します。
- ❷ init ディレクトリのあるディレクトリを指定します。
- ❸ init スクリプトのあるディレクトリを指定します。
- ❹ VMPlayer のデーモンをインストールするディレクトリを指定します。
- ❺ VMPlayer のライブラリをインストールするディレクトリを指定します。
- ❻ ❺で指定したディレクトリが存在しない場合に作成するかどうか答えます。
- ❼ ドキュメントファイルをインストールするディレクトリを指定します。
- ❽ ❼で指定したディレクトリが存在しない場合に作成するかどうか答えます。
- ❾ VMPlayer の設定を行うかどうかを答えます。
- ❿ テーマアイコンをインストールするディレクトリを指定します。
- ⓫ デスクトップメニューの登録先ディレクトリを指定します。
- ⓬ VMPlayer のアイコンをインストールするディレクトリを指定します。
- ⓭ vmmon モジュールをリビルドするかを指定します。
- ⓮ kernel ヘッダーファイルのあるディレクトリを指定します。
- ⓯ vmblock モジュールをリビルドするかを指定します。
- ⓰ VMPlayer でネットワークに接続するかを指定します。
- ⓱ VMPlayer でホスト OS と IP アドレスを共有するか答えます。
- ⓲ ⓱の準備をするかを指定します。
- ⓳ 他に⓲の設定をするかを指定します。
- ⓴ VMPlayer を動かしているマシンを経由してネットワークを使用するかを指定します。
- ⓵ VMPlayer を動かしているマシンとのネットワークの使用を準備するかを指定します。
- ⓶ 他のネットワークを設定するかを指定します。
- ⓷ vmnet モジュールをリビルドするかを指定します。



デフォルトの設定で良い場合、[Enter]キーを入力すればよいでしょう。

3.3. ATDE の起動

1. コンソールで次のように入力します。

```
[PC ~]$ vmlayer
```

図 3.9. VMPlayer の起動

ここで、VMPlayer が、ライセンス同意書を開こうとしてエラーが発生する場合があります。表示されるエラーメッセージは以下のようなものです。

```
Failed to open file `/usr/lib/vmware/share/EULA.txt': そのようなファイルやディレクトリはありません
```

図 3.10. VMPlayer 起動エラーメッセージ

この場合はコンソールから次のコマンドを実行してください。

```
[PC ~]$ ls -l /usr/lib/vmware/share/EULA.txt
lrwxrwxrwx 1 201 201 26 2007-10-02 09:34 /usr/lib/vmware/share/
EULA.txt -> /usr/share/doc/vmware/EULA
[PC ~]# cd /usr/share/doc/vmware
[PC /usr/share/doc/vmware]# gzip -d EULA.gz
```

図 3.11. 起動エラーの解決例

2. ライセンス同意画面が表示されます。内容を確認し同意する場合は、「Accept」ボタンをクリックしてください。

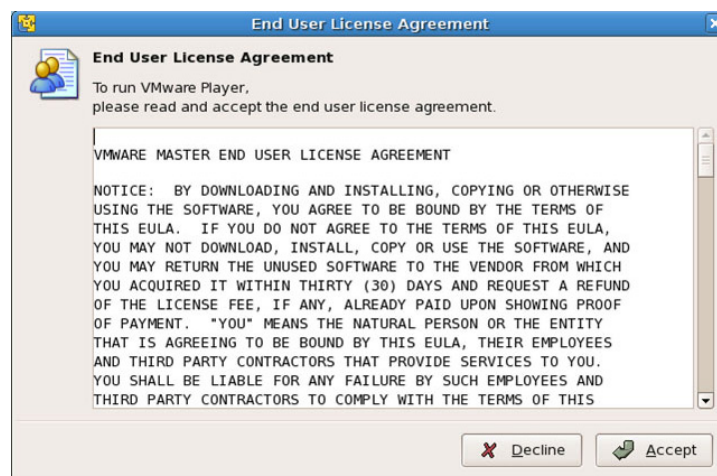


図 3.12. ライセンス同意画面

3. ファイルダイアログが開きます。「3.1.2. ATDE イメージの展開」で展開した atde2 ディレクトリにある atde2.vmx を指定してください。

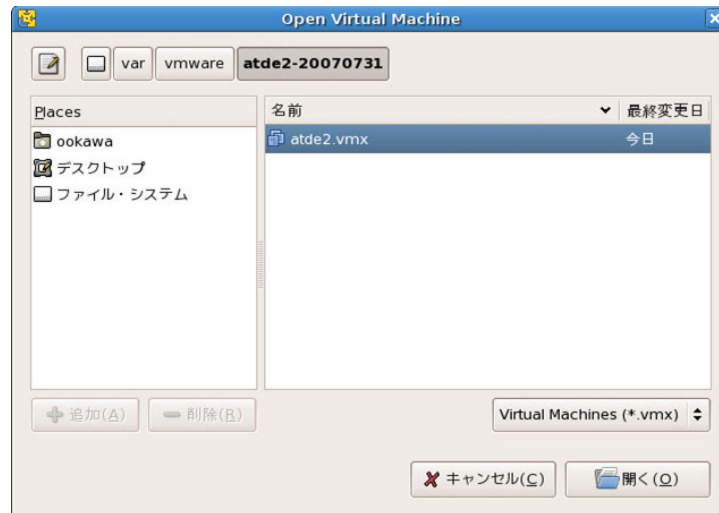


図 3.13. vmx ファイル指定画面

ログインユーザは、次の 2 種類が用意されています。デフォルトの設定では、「atmark」で自動ログイン¹します。

表 3.2. デフォルトのユーザ名とパスワード

ユーザ名	パスワード	権限
root	root	特権ユーザ
atmark	atmark	一般ユーザ

3.4. アンインストール

3.4.1. VMware のアンインストール

1. RedHat 系ディストリビューションの場合

以下のコマンドを実行します。

```
[PC ~]# rpm -e vmwareplayer
```

図 3.14. rpm でのアンインストール方法

2. Debian 系ディストリビューションの場合

以下のコマンドを実行します。

¹自動的にログインさせたくないときは「A.3. 自動ログインしないようにするには」を参照してください。

```
[PC ~]# dpkg -r vmwareplayer
:
[PC ~]# dpkg --purge vmwareplayer
:
[PC ~]# rm -rf /etc/vmware /usr/lib/vmware/
```

図 3.15. dpkg でのアンインストール方法

3. インストーラ非使用の場合

以下のコマンドを実行します

```
[PC ~]# vmware-uninstall.pl
```

図 3.16. vmware-uninstall.pl でのアンインストール方法

3.4.2. atde ディレクトリの削除

もしデータが必要ないのであれば、「3.1.2. ATDE イメージの展開」で展開した atde2 ディレクトリを削除してください。

```
[PC ~]$ ls
atde2
[PC ~]$ rm -rf atde2
```

図 3.17. ATDE ディレクトリの削除

付録 A. Appendix

A.1. シリアルポートに関して

通常、何も設定しなくても ATDE からシリアルポートを使用することができます。

A.1.1. 動作確認方法

ATDE が動作している状態で PC とシリアル機器を接続し、電源を入れて動作を確認してください。

A.1.2. 動作しない場合の対処方法

- PC にシリアルポートが複数ある場合、VMware 設定ファイル (atde2.vmx) をテキストエディタで開き、`serial0.fileName` の値を適切に変更してください。

```
serial0.present = "TRUE"
serial0.fileName = "Auto detect"      この箇所を変更します
serial0.autodetect = "TRUE"
```

図 A.1. VMware 設定ファイルの変更

表 A.1. シリアルポート名の例

OS	シリアルポートのデバイス名
Windows	COM1, COM2 等
Linux	/dev/ttyS0, /dev/ttyS1, /dev/ttyUSB0 等

- VMPlayer のメニューバーにある「Serial」ボタン (USB-シリアル変換アダプター使用時は「USB device」ボタン) が押された状態になっているかを確認してください。
- Windows 使用時に「図 A.2. シリアルポートへのアクセスエラー」のような画面が表示された場合はすでにシリアルポートが使用されています。エラーメッセージに書かれているシリアルポートを開放してください。

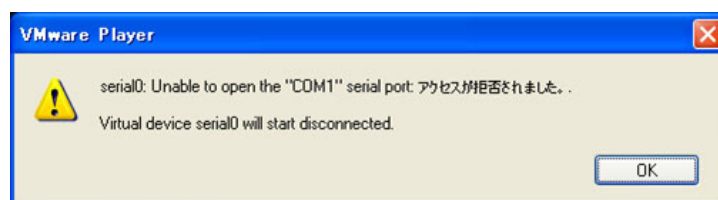


図 A.2. シリアルポートへのアクセスエラー

A.2. ATDE の画面解像度を変更する

ATDE の画面解像度を変更する手順を説明します。

A.2.1. ATDE を起動する

- Windows の場合

「2.3. ATDE の起動」を参照し ATDE を起動してください。

- Linux の場合

「3.3. ATDE の起動」を参照し ATDE を起動してください。

A.2.2. 画面解像度を変更する

以下では設定例として、画面解像度を"1280×1024"に設定しています。

```
[ATDE ~]$ sudo vmware-config-tools.pl
:
None of the pre-built vmtoolsd modules for VMware Tools is suitable for your
running kernel. Do you want this program to try to build the vmtoolsd module
for your system (you need to have a C compiler installed on your system)?
[yes]
①
:
What is the location of the directory of C header files that match your running
kernel? [/lib/modules/2.6.18-4-686/build/include]
②
:
[EXPERIMENTAL] The Virtual Machine Communication Interface (VMCI) service
Provides a new communication capability with the Host, primarily for
Development at the moment. Would you like to enable this feature? [no]
③
:
Do you want to change your guest X resolution? (yes/no) [no] yes
④
see choose one of the following display sizes that X will start with (1-15) :

[1] "640x480"
[2] "800x600"
[3] "1024x768"
[4] "1152x864"
[5] "1280x800"
[6]< "1152x900"
[7] "1280x1024"
[8] "1376x1032"
[9] "1400x900"
[10] "1400x1050"
[11] "1440x900"
[12] "1680x1050"
[13] "1600x1200"
[14] "1920x1200"
[15] "2364x1773"
Please enter a number between 1 and 15:

[3] 7
⑤
```

```

:
:
Enjoy,

--the VMware team

[ATDE ~]#

```

図 A.3. 画面解像度の設定例

- ❶ vmmemctl モジュールをリビルドするかを指定します。
- ❷ kernel ヘッダーファイルのあるディレクトリを指定します。
- ❸ ホストとのコミュニケーションを提供する VCMII サービスを有効にするかを答えます。
- ❹ ATDE の画面解像度を変更するかを答えます。yes とタイプして[Enter]キーを入力してください。
- ❺ お使いのモニタに合った画面解像度を番号で指定して[Enter]キーを入力してください。

A.2.3. X の再起動

[Ctrl]+[Alt]+[BackSpace]キーを入力し、X を再起動して画面解像度の設定を反映します。再起動が完了すると、指定した画面解像度で起動します。

A.3. 自動ログインしないようにするには

ATDE の起動時に、自動的にログインをしないようにする手順を説明します。

1. デスクトップ>システム管理>ログイン画面の設定を選択します。

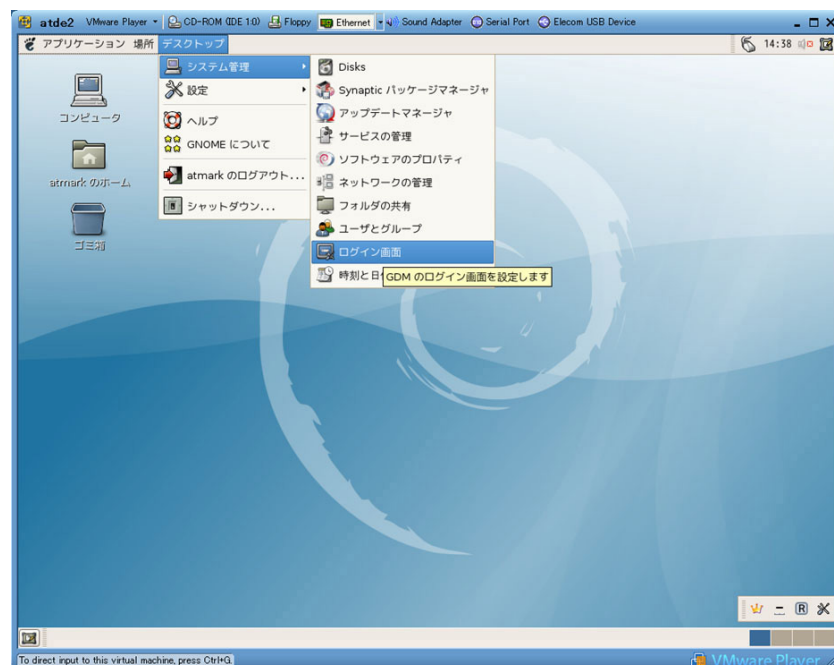


図 A.4. ログイン画面の設定 1

2. root のパスワードを聞かれるので、「root」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。



図 A.5. root パスワード入力画面

3. 「自動ログインを有効にする」のチェックを外します。

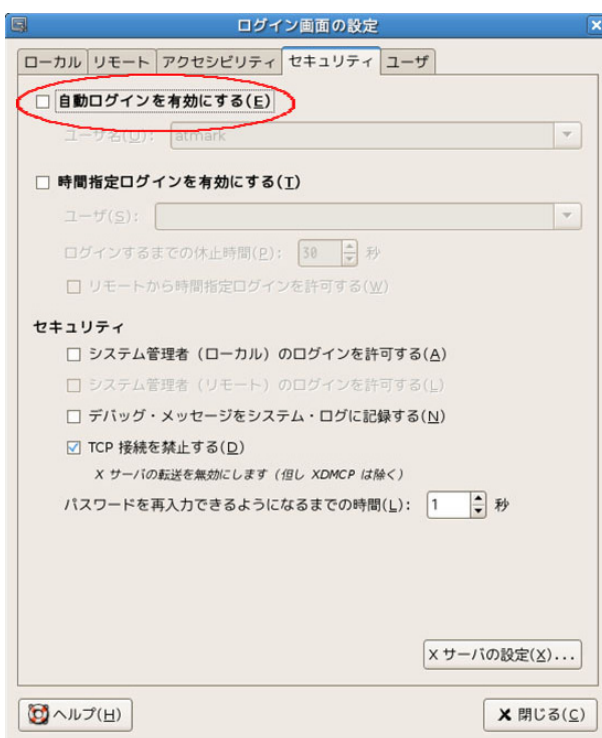


図 A.6. ログイン画面の設定 2

4. ATDE を再起動します。再起動後にはログイン画面が表示されます。



図 A.7. ログイン画面

改訂履歴

バージョン	年月日	改訂内容
1.0.0	2006/12/28	<ul style="list-style-type: none">• 初版発行
1.0.1	2007/7/20	<ul style="list-style-type: none">• ドキュメントプロパティのタイトルと作成者を修正• ホスト・ゲスト間でのコピーと貼り付けについて追記
2.0.0	2007/10/4	<ul style="list-style-type: none">• atde2 (Debian GNU/Linux 4.0)ベースに更新

ATDE Install Guide
Version 2.0.0d-a2a729d
2008/08/19

株式会社アットマークテクノ

060-0035 札幌市中央区北 5 条東 2 丁目 AFT ビル 6F TEL 011-207-6550 FAX 011-207-6570
